

感染症週報〔市内週報 平成23年第46週〕

結核・感染症発生動向調査

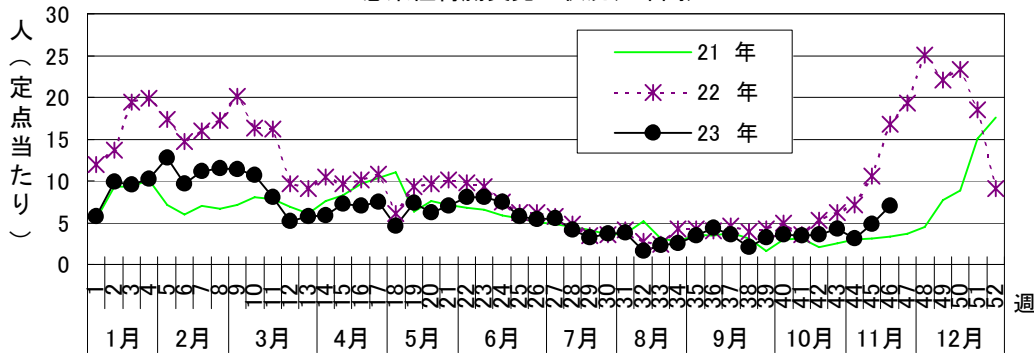
平成23年11月22日

平成23年第46週感染症発生状況【川崎市内】

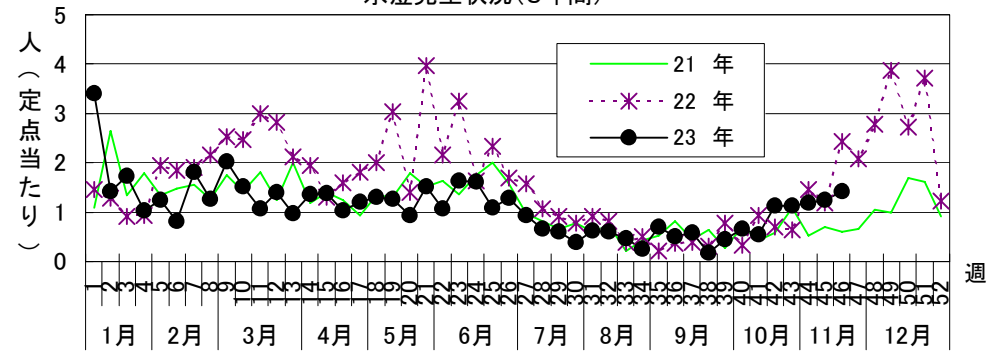
平成23年11月14日～平成23年11月20日

5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届出	累計(平成23年第1週以降)
<p>第46週で定点報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 水痘でした。</p> <p>感染性胃腸炎は定点当たり7.00人と前週(4.79)より患者報告数は増加しており、今後患者報告数が大幅に増加することが推測されますので、今後の発生動向に注意が必要です。</p> <p>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり1.73人と前週(1.82)より患者報告数はやや減少しており、例年と比較して低いレベルでの推移となっています。</p> <p>また、報告数自体は少ない(本市では2つの医療機関が報告対象)ですが、例年に比べてマイコプラズマ肺炎の報告が大幅に増加していますので、今後注意が必要です。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 6件	結核 368件
	3類感染症	なし	細菌性赤痢 5件 腸管出血性大腸菌感染症 24件
	4類感染症	なし	レジオネラ症 10件 E型肝炎 1件 デング熱 5件
	5類感染症	後天性免疫不全症候群 1件	アメーバ赤痢 7件 ウイルス性肝炎 4件 急性脳炎 2件 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 4件 後天性免疫不全症候群 15件 梅毒 11件 風しん 10件、麻しん 9件

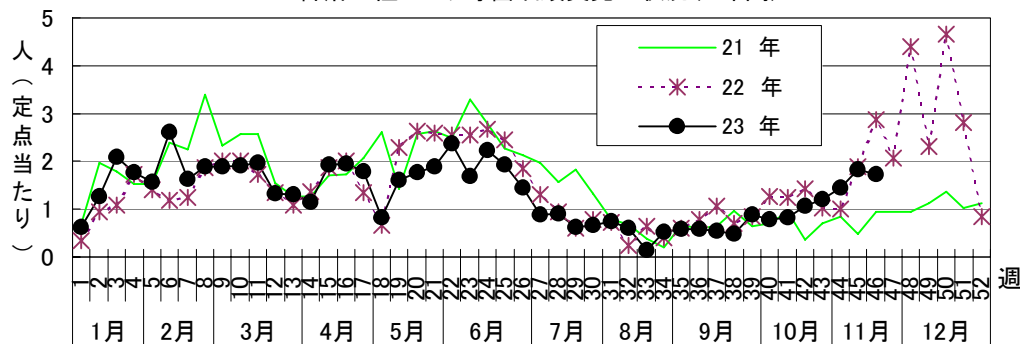
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



マイコプラズマ肺炎発生状況

